

2024年度日本福祉文化学会新規事業

# 日本福祉文化学会の将来を 考えるゼミナール

---

馬場 清（日本福祉文化学会会長）

日本福祉文化学会の  
現在を俯瞰し、  
将来を構想する

# 開催趣旨

1989年に設立された日本福祉文化学会。今年度で35年目を迎えます。最盛期には500人を超える会員が所属していましたが、現在は150人ほど。正直なところこのままでは、何年か後に「閉会」せざるを得ない状況になりつつあります。

そんな「転換期」にあたって、この「窮状」をなんとか打破すべく、今回「日本福祉文化学会の将来を考えるゼミナール」を開催することにしました。どこの学会も同じような状況を抱える中で、学会の活動の活性化をすることは容易なことではありません。特に他の社会福祉系学会とは明らかに異なる独自の道を歩んできた日本福祉文化学会にとっても、学会の活動の活性化をもたらすことは、正直、難しいといわざるを得ません。

じゃあ、ただ手をこまねいてこのまま「閉会」の道を歩むのか、いや、「福祉文化」の魅力に取り憑かれた150人の知恵を結集して、再び隆盛期を迎えるのか。最後の悪あがきになるかもしれませんが、ここに「日本福祉文化学会の将来を考えるゼミナール」を発足させ、皆さんで、語り合いたいと思っています。

この学会のこれからは、一部の役員のみでは何ともなりません。是非、一人でも多くの会員の皆さんに参加していただき、ざっくばらんにこの学会のこれからについて考え合いましょー！！！！

# 開催概要

- 2ヶ月に1回程度、オンラインで自由闊達に日本福祉文化学会の将来について語り合う場とする。
- メンバーは、全会員から募る。非会員の参加もOK。
- 参加費は無料。
- 今年度は、毎回話題提供者を決めて、20分のプレゼン。その後40分のフリーディスカッション。1時間で終える。
- 全国大会でも、同様の分科会を設けて、議論を深める。
- それらの議論を受けて、2025年度には、将来構想を考える委員会を立ち上げる。
- この委員会が、2025年度中には、日本福祉文化学会の将来構想について、何らかの提言を理事会において行う。
- 2026年度総会にて議論する。

# 日本福祉文化学会の将来を考えるゼミナール（仮称）

開催日	内 容	話題提供者
7月25日（木）	福祉文化学会の「不都合な真実」を考える	馬場 清
9月8日（土）	現場セミナーは福祉文化学会生き残りの切り札になるか	渡邊 豊
11月28日（木）	時代と情勢にふさわしい「研究誌」のあり方	中嶋 洋
1月	学術研究学会として生き残るために必要なこと	
3月	「福祉文化」を儲かるコンテンツにする	
全国大会	福祉文化学会の「生き残り」戦略5箇条とは	

# 第1回日本福祉文化学会の将来を考えるゼミナール

- ◆開催日 2024年7月25日（木）19：00～20：00
- ◆形式 ズームによるオンライン
- ◆テーマ 日本福祉文化学会の「不都合な真実」を考える
- ◆話題提供者 馬場 清（東京おもちゃ美術館・日本福祉文化学会会長）
- ◆参加費 無料
- ◆申込み 右のQRコードもしくは下記フォームより申込み  
<https://forms.gle/hNW7pBjhPmXgNCtDg>
- ◆その他 参加申込みをされた方には、前日までに、ズームURLをお送りいたします。



## 第2回日本福祉文化学会の将来を考えるゼミナール

- ◆開催日 2024年9月8日（土）13：00～14：00
- ◆形式 ズームによるオンライン
- ◆テーマ 現場セミナーは日本福祉文化学会生き残りの切り札になるか
- ◆話題提供者 渡邊 豊（日本福祉文化学会理事）
- ◆参加費 無料
- ◆申込み 8月より申込み開始
- ◆その他 参加申込みをされた方には、前日までに、ズームURL  
をお送りいたします。

# 第3回日本福祉文化学会の将来を考えるゼミナール

- ◆開催日 2024年11月28日（木）19：00～20：00
- ◆形式 ズームによるオンライン
- ◆テーマ 時代と情勢に合わせた『研究誌』のあり方
- ◆話題提供者 中畠 洋（中京大学・日本福祉文化学会副会長）
- ◆参加費 無料
- ◆申込み 10月より申込み開始
- ◆その他 参加申込みをされた方には、前日までに、ズームURLをお送りいたします。